

景観まちづくりとは —その意義と魅力—

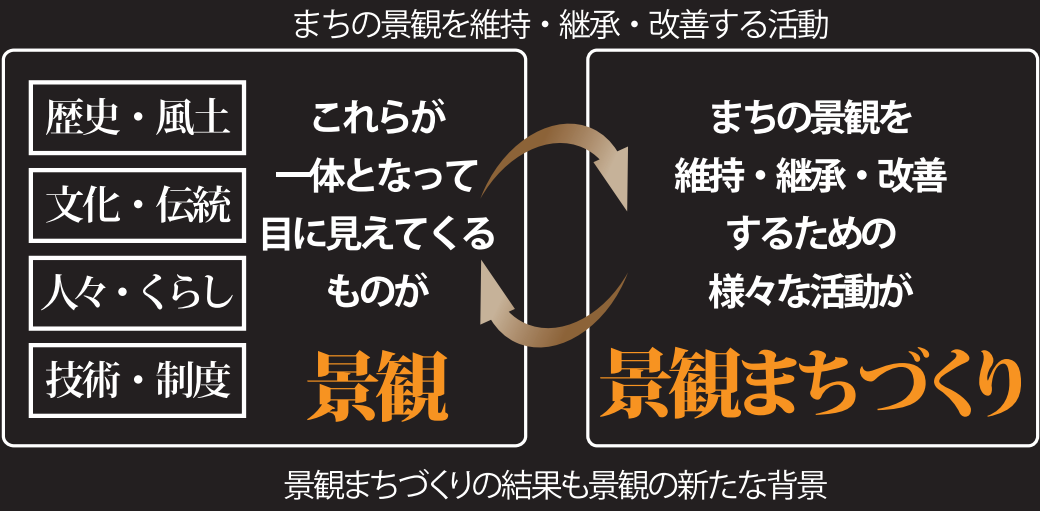


「景観まちづくり」

自分たちのまちの景観の魅力を楽しみ、貴重な資産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが行われています。それが景観まちづくりです。

景観まちづくりは、現在の良い景観を大事に保全することだけでなく、新たに、現代的で美しく魅力的な景観を創り出すことも含みます。

清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。



景観まちづくりの意義と魅力

景観まちづくりは、それぞれのまちや地域が、住民一人ひとりの資産となり、時代に引き継ぐに値する魅力的なものとなるよう、住民や事業者・行政等が協働して行う取り組みです。

景観まちづくりは、まちや地域に対して意義深く効果のある取り組みであることはもちろん、取り組む人たちにとってもやりがいのある魅力的な取り組みなのです。

1. 身の回りの心地よさを創り出す
- 身近な空間の見え方や印象を美しく快適に整える景観まちづくりを通じて、身の回りの心地よさが得られます。
2. まちの個性を育む
- 歴史的・伝統的な景観の保全や、まちの新しい魅力をつくる景観まちづくりは、わがまちらしさ・まちの個性を育みます。
3. 地域の課題改善に役立つ
- 地域の活性化、コミュニティの育成などの地域の課題改善にも景観まちづくりは役立ちます。
4. 充実感ややりがいがある
- 景観まちづくりは、目に見える成果や地域の人々との交流などを通じて、取り組む人に大きな充実感をもたらします。
5. まちと暮らしに誇りと愛着が持てる
- 景観まちづくりを通じて、自分のまちや暮らしの良さに気づき、誇りや愛着を持てるようになります。

